

鳥羽

三重県

観光立国をめざして



磯辺にはどのような生き物がいるのか。実際に採取することで、子供達は自然の豊かさや生物の尊さを学ぶ。まさにエコツーリズムの神髄



ワカメ刈りを体験。その大きさに圧倒される

シースルーカヤックを使えば紺碧の海をさらに実感できるはず



「海女小屋」で海女と共に海の幸を堪能。鳥羽ならではのツアーだ

「海女」が息づく豊饒な海
「エコツーリズム推進協議会」は全国数あるが、実はエコツーリズム推進法で国が認可する団体（地域）は鳥羽を含め7つだけ。「自然環境の保全」「観光振興」「地域振興」「環境教育の場としての活用」の4本柱を「鉄則」とし、地域経由で固有の自然環境や伝統文化の魅力を観光客に伝え、これらの大きさを理解させることで保全につなげるが目的だ。

鳥羽はその典型と言つていいだろう。市域のほぼ全てが伊勢志摩国立公園内で、風光明媚なリアス海岸と沖に浮かぶ大小の島々、豊饒な海では伝統的な海女漁が今なお息づく。陸に目をやれば、青々とした樹海とカルスト地形が広がり、無数の巨木にホンザルやカワセミなどが戯れる。独特な伝統・文化も健在で、前述の海女はもちろん、答志島の寝屋子制度（一定年齢に達した男子を世話役が預かる制度）や、大漁と海上安全を祈願する「しんごろ祭り」、白浜遺跡、鳥羽城跡など、枚挙に暇がない。

こうした貴重な観光資源を武器に「鳥羽ブランド」として内外にアピールするのが、鳥羽の観光戦略だ。

協力：鳥羽市観光課

「海女」が息づく豊饒な海

「エコツーリズム推進協議会」は全国数あるが、実はエコツーリズム推進法で国が認可する団体（地域）は鳥羽を含め7つだけ。「自然環境の保全」「観光振興」「地域振興」「環境教育の場としての活用」の4本柱を「鉄則」とし、地域経由で固有の自然環境や伝統文化の魅力を観光客に伝え、これらの大きさを理解させることが保全につなげるが目的だ。